地域の輝き
磨く人たち
おらほノ魂

特集 第1回

田沢地域

東の駒ヶ岳、西の田沢湖に抱かれ、海抜280メートルの高地に位置する「田沢」地域。古くから文武両道の精神で、指導者や偉人を育ててきました。今、高齢化・過疎化に悩みながらも住民の手で地域活性化が進められています。

昭和22年の田沢会館

学ぶことは伝統、田沢の誇り

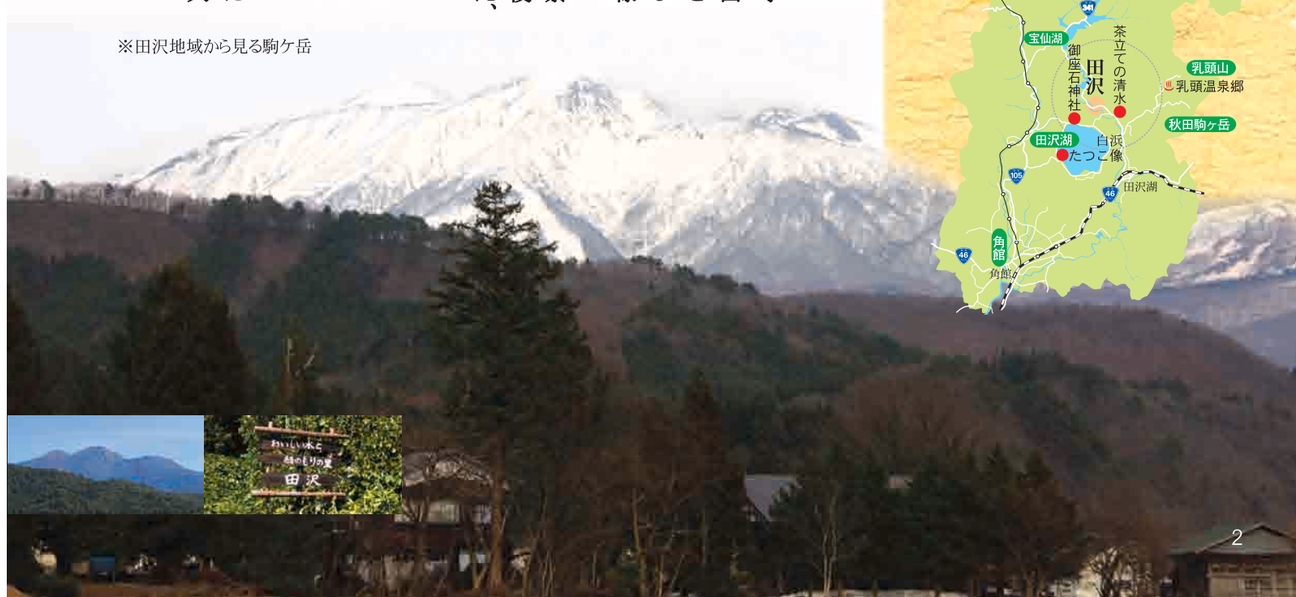
古くからの文教の地、田沢。「百年の計は教育から」が地域の信条といいます。

中でも「田沢会館（秋田市千秋公園近く）」の設立・運営は、人材の育成に大きく貢献した偉業だったのです。戦後、日本再建に向う中で、通学に不便な田沢の学生が学問に専念できる環境をと、田沢出身の千葉源之助氏が私邸を開放したものです。田沢会館は学生の寄宿舎としての役割の他にも、秋田市在住の田沢出身者や源之助・せん夫婦を慕う人たちの拠り所として、田沢村秋田出張所のような様子だったといいます。

昭和31年の合併に伴い「育英寮田沢湖会館」と名称を変更した後も旧田沢湖町関係者の気概を支え、平成19年に閉館しました。

駒ヶ岳・田沢湖、身近な大自然に育まれました

「田沢をひとことで言うと？」と地域の皆さんに問いかけたら、多かった答は「田沢湖、駒ヶ岳、荷葉岳」で、自然に敬意を抱く人の思いが伝わってきました。自然に恵まれた仙北市の中でも、最も天に近いイメージです。


※田沢地域から見る駒ケ岳

スポーツもすんげがった快挙列伝がズラリ

田沢中学校といえば、女子篭球部は郡市はもちろん全県大会でも怖れられた存在でした。

県中学校大会（昭和39年～）7連覇
県中学校選抜大会（昭和39年～）11連覇
北東北大会（昭和43年～）3連覇

昭和49年には東北優勝など、誉れ高い記録が光ります。

が去年も店が1軒なくなってしまいました

何とかしねば……

NPOたざわ村、地域運営体「荷葉」へ

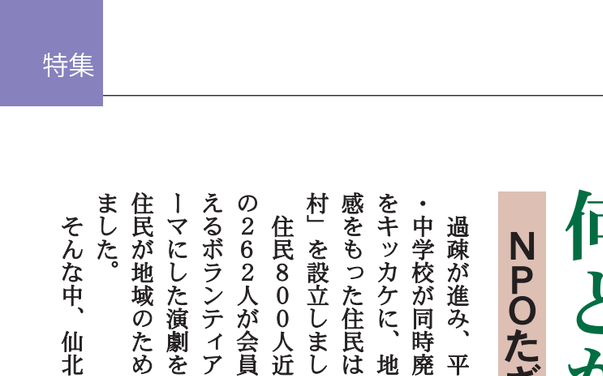
過疎が進み、平成16年に田沢小・中学校が同時廃校になったことをキッカケに、地域の存続に危機感をもった住民は「NPOたざわ村」を設立しました。

住民800人近くの内、1／3の262人が会員です。地域を支えるボランティア活動や昔話をテーマにした演劇を発表するなど、住民が地域のために汗を流してきました。

そんな中、仙北市の地域運営体構想が始まり、昨年の春、田沢地域運営体「荷葉（かよう）」が設立されました。

活動の経験が豊かなNPOと、地域資源の活用や課題の解決に取組む地域運営体の協働活動は効率よく進んでいます。

また、事業内容にも住民の意見を多く取り入れようと、総会の前に公開審査を行うなど、あたたかみのある運営方法で住民に浸透していました。



火曜日のみの診療で、田沢住民の健康を支える「田沢診療所」。診察の帰りに農村喫茶に寄る人が多いようです。

地域運営体について：仙北市では地域の身近な課題を地域住民が解決するなど、地域住民の自発的、自主的な活動を行う地域運営体の設立をすすめています。市の予算を、特産品づくりや起業などに有効活用することもできます。民分権を進め、行政も含んだ、総体的な仙北市の質を上げることがねらいです。

火曜日だけの喫茶店がオープン！

地域運営体の初仕事は、昨年7月6日にオープンした「農村喫茶」。田沢診療所の週に1度の診察日、火曜日に合わせて営業しています。

旧コミュニティーホームの図書室を改造、住民で掃除をし、自宅からコーヒーメーカーや食器類を持ち寄った手づくり感いっぱいの「たまり場」です。当初はコーヒーだけの営業でしたが、食事の要望も多く翌週からはうどん・そばの軽食も始めました。

行商の店が集まってきました

常連さんは週に一度ここで顔を合わせるのが楽しみといいます。メニューも増えて、天ぷらうどん、牛丼などの食事も充実。コーヒーに付いているケーキは生保内のまさき菓子屋さんからサービス品。市民のあたたかさを感じます。

また、洋服や、パン、ヤクルトさんに、牛乳や、農家の産直レタス販売など行商の店も集まって、火曜日は、田沢ににぎわいが戻ってきました。

むらの喫茶店「たざわ」
営業日：火曜
営業時間：午前10時～午後2時30分
電話：0187-42-2511

こんな取組も

茶立ての清水辺りをもっと工夫したいな

名水「茶立ての清水」は、観光シーズンともなれば、水を汲む人が列をつくるほどの人気スポットです。

この周りにチューリップを植えたり、農産物の販売を強化するなど、訪れる人をもっと楽しませる事業を広げています。

きのこ栽培にも力を入れよう

「平成の合併のころ、田沢は市の端にあるから、切り捨てられそうで不安だった。NPOから始めて地域運営体をつくって、今は毎日忙しく楽しいです。今年はきのこをもっとやるぞ」と会長の浦山久二さん。農業所得をもっと上げようと「地場農産物の生産、販売対策事業」に取組みます。

住民みんなで考えた今年度の事業が、本格的な春の訪れとともに始動しました。

地域の伝説にも光を当てよう

「おばこ石」「寝仏さん」「お諸仏さん」「亀石」と、逸話をもっていたり、信仰の対象にある石が多いのも田沢の特徴。今年度事業に「パワースポット発掘・整備事業」も企画しています。